

南京 1937 名古屋証言集会

日 時 2009年12月12日（土）午後2時～4時半

会 場 椋山女学園中学校・高等学校（千種区山添町2-2）

地下鉄東山線（「覚王山駅」4番出口より南に徒歩7分）

集会内容

1. 講演 「戦場の街 南京」松岡環

2. 証言 楊 翠英 南京大虐殺幸存者 1925年生れ、当時12歳

入場料 高校生無料 大人1000円

夏に政権が交代しました。自民党政権は戦後50年での村山談話を踏襲することはあってもそれから一步たりともでることなく、朝鮮半島の植民地支配への謝罪、アジア諸国への侵略戦争への真摯な反省をしてきませんでした。

この歴史を顧みることをしてしない政権はアメリカのイラク攻撃を支持し、武装したアメリカ兵を航空自衛隊に空輸させることで参戦し、対テロ戦争への協力はインド洋上での多国籍軍艦船への給油活動として継続してきました。

民主・社民・国民新党の連合政権は、教科書検定の焦点となった従軍慰安婦、南京大虐殺とどう向き合い、全く手付かずの朝鮮民主主義人民共和国への戦前戦中35年にわたる植民地支配などの戦後補償問題をどう解決していくのか改めて問われています。

南京大虐殺から72年、戦後64年、日中とも戦争体験者が亡くなっていく中、楊翠英さんには南京大虐殺の被害者本人として当時の体験を語っていただき、松岡環さんには南京大虐殺にかかわる日中の当事者を自らの足で調査した13年間の調査研究そして交流のエッセンスを語っていただきます。

今年の名古屋証言集会も椋山高校を会場とし、名瀬地区高社研の協賛を得て開催することができました。＜ノーモア南京＞名古屋の会 平山良平